

11月を迎え、秋の深まりが感じられる季節となりました。学校では、この2学期に、スポーツ・勉学・芸術を通じて、最後までやりとげうれしかったという経験を、子どもたちにはたくさん積ませたいと考えています。11月10日は日曜参観日です。1時間目に人権学習、10時から校内音楽会を行いますので、どうぞご参観を、よろしくお願ひいたします。

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

○豊かな心を育みます 10/16・17

6年 ヒロシマでの平和学習

6年生は、修学旅行で全校児童がおった千羽鶴を「原爆の子の像」にささげてきました。修学旅行後に、児童集会で全校児童に報告をし、日曜参観で、保護者の方に平和について学んできたことを報告します。



- 私は、坪井直さんの話が一番印象に残りました。坪井さんは被爆されたとき、全身やけどをして、もう死ぬ覚悟であきらめました。でも、その時、友だちの「絶対にあきらめたらあかん」という一言で救われました。坪井さんは、あきらめたらだめということと命の大切さを教えてくれました。
- 原爆ドームは、思ったより大きくて、1発の原子爆弾であんな形になってしまふとは、あらためて戦争のおそろしさがわかりました。

○豊かな心を育みます ○教職員の資質向上 10/11

正直にあやまれたら… 3年道徳研究授業

友だちの行いが許せず、仕返しをしてしまう主人公。怒った友だちを見て「悪かった」と思いつつ、素直に謝れませんが。放課後対決することになり、定規を振りかざそうとする主人公に、現れた友だちは、「待ちなよ。もうけんかはよそう。」といいます。主人公は、ほっとした反面、帰宅後、「ぼくの方が悪いから、先に謝ればよかった。」といつまでもいつまでも後悔が残ります。

- 私は、エンリーコ君(主人公)みたいに、友だちとけんかしたとき、素直にあやまれないです。なので、にてるなと思いました。
- 自分もそういうときがあったとしたら、コレッティ君(友だち)といっしょで、すぐに「けんかはよそう」といったらよいのだなあと思いました。自分の気持ちを早く言おうってきめました。



事後協議会で、講師の畿央大学の島 恒生教授から、「最後まで集中して考え友だちの意見をしっかり受け止められていた」「中心発問をもう一工夫すると、自分も弱い心には負けたくないなという思いがもつてたのではないか」とご指導いただきました。

○確かな学力の向上に努めます ○教職員の資質向上 10/3

命のはじまりってすごい 5年研究授業

5年生が理科の授業で、母体内で成長する胎児の様子を学習しました。事後協議会で元木島小学校の藤本ミエ子先生に、子どもたちの自尊感情を高め、他者を大切にすることを育てるための性教育についてお聞きしました。

- 40週目になると、50cm・3kgになっているのがすごいと思った。ぼくも、(無理だけど)おなかの中で育ててみたいし、もう一回育ちたい。
- 胎盤とへその緒を自分でつくれることにびっくりしたし、すごいなあと思った。私は、がんばってうまれてきたんだなあ、私ってすごい!と思った。
- 約32週目の赤ちゃん人形を抱いてみて、あんなに重かったと初めて知った。



○確かな学力の向上に努めます ○教職員の資質向上 10/25

「花まる授業」で元気いっぱい

花まる学習会の川島慶先生と岩川真弓先生をお招きし、2年生が「花まる授業」を受けました。木のブロックや迷路などのプリントを使った学習で、集中力や思考力をたかめるとともに、友だちと協力して「できた喜び」を表現する活動を見せていただきました。子どもたちは、大きな声を出すことや、しっかり先生の方を向き話を聞くことなどを守ると「かっこいい大人になれる」ことを教えていただきました。授業後も、もくもくとプリントに取り組む子や、「このプリントで、賢くなったと思うわ」と言う子などがいました。



○確かな学力の向上に努めます

全国学力・学習状況調査について

6年生を対象に全国学力・学習状況調査が4月に実施されました。その結果が、8月末に学校に送られ、6年生には、9月下旬に個人情報としてお渡ししました。今回は、本校の傾向や今後の取組についてお知らせします。

- 国語
 - ・漢字の読み書きや接続詞の働きなどの主として「知識」に関する問題はできるが、「リーフレット作成にあたり、図鑑を引用したり自分の考えを具体的にまとめたりする問題」で、条件通り書けていないなど、主として「活用」に関する問題に課題がある。
- 算数
 - ・計算や数量・図形の性質などの主として「知識」に関する問題はできるが、「情報を整理し、筋道を立てて判断したり、理由を記述したりする」など、主に「活用」に関する問題に課題がある。
- 学習状況調査(児童アンケート)
 - ・学習に関しては、「授業で自分の考えを発表する機会や友だちと話し合う活動がよくある。」「授業のはじめにめあてを示し、最後に振り返りをよくしている」「家で学校の宿題をする」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」などの項目に肯定的な回答が多い。(9割~10割)
 - ・自分に関しては、「将来の夢や目標を持っている。」「物事を最後までやりとげうれしかったことがある。」などの項目に肯定的な回答が多い。(9割以上)反面、「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している。」の項目に肯定的な回答は約6割強だった。
- 今後の取組
 - 知識に関する問題については、学校全体で、授業規律・学力保障・「教えて考えさせる授業」などに取り組んできた成果が現れていると感じます。これらの取組を継続させながら、今後、活用する力の強化や自尊感情の育成に力を入れていきたいと考えています。
 - ①学び合い活動で自分の考えを自分の言葉で発表したり、ノートに考えをまとめたりする活動を充実させます。
 - ②情報の処理能力や活用力をつけるため、各教科とも、資料やグラフなどを扱う教材をより丁寧に指導します。
 - ③算数のチャレンジ問題などで、生活に即した問題を増やします。
 - ④何事にも挑戦する心を育むため、学校教育活動全体を通して、人間関係づくりや自尊感情を高める取組を引き続き推進します。

少年の主張大会 「ユースシアター」(中ホール)

十一月三十日(土)午後一時三十分

市内十一校の小学生在が自分たちの考えや思いを発表します。東山小学校は、六年生の芝岡真穂さんが、「命について」を発表します。で、応援してください。